



Securities（有価証券）の語源は？ | 金融・経済の英単語



Securities-有価証券

security

は「安全、防御」などの意味ですが、法律の分野では「担保、抵当、保証金」などの意味があり、複数形のsecuritiesは「有価証券」を意味します。この名詞のもとになっている動詞の secure (守る、安全にする)は、se- (離れて) と cura (心配)に分解され、後ろの部分は「世話、治療」を表すcureとなりました。分離の se- で始まるメジャーな単語としては、select, separate, seduce などがあります。

さて secure の形容詞は curious (好奇心の強い)、名詞は curiosity (好奇心)です。また pro- (前方に) という接頭辞がついて procure (獲得する) という動詞ができています。procure は「特に努力や苦勞をして手に入れる」意味で使います。名詞 procuration は「獲得」のほかに「手数料」の意味もあります。insecure (確かな) という形容詞もありますね。

care も同じルーツですね。形容詞 careful (注意深い)はよく使う単語ですし、careless (不注意な) も「ケアレス・ミス」などという日本語になっています。chary (用心深い) という語もこれらの仲間です。

フランス語では、真ん中の部分の "cu" が脱落して "sûr" (確かな)となりましたが、この形容詞の女性形から sure (確実な、確信した) という英語ができました。野球で「イチローのシュアなバッティング」と言っているのはこれです。このsure にいろいろな接頭辞がついて新たな語彙が生み出されています。

そのひとつが「保険」の insuranceです。動詞は insure (保証する保険をかける)。イギリスでは assurance という語も「保険」の意味で使うようですが、これは動詞 assure (請け負う、保証する)の名詞形です。insure の姉妹語と言えるのが ensure で、これも「保険をかける」の意味があります。

文：猪浦道夫・天宮徹也（共同執筆）／編集：M&A Online編集部